

市長とのかがやきライフトーク

と き：平成24年3月1日（木） 19:00～20:30

ところ：中川地区センター

団 体：中川校区社会福祉推進協議会 26名

【団体】

市長さんとお話するのは初めてです。よろしくお願いいたします。中川校区は、4,980世帯で大垣市の7.9%を占めています。また人口も12,769人と市内の人口7.8%にあたります。65歳以上は2,603人で高齢化率は約20%となり、比較的若い世代が多い地区になります。昭和36年に土地改良が行われて、その余剰地を集めて学校誘致をした結果、大垣女子



短期大学、大垣北高等学校、岐阜経済大学が中川校区に集まり、中川地区は文教地区と思っています。また桜回廊事業を行っていますが、地域の皆さんが力を合わせて、清水川、曾根川、加納川の川岸に桜を植えてきた経緯があります。東海環状線の大垣西インターからおりて、中川地区の桜を見ていただけるといいです。今日は社協の活動を紹介し、市長さんとトークしたいと思います。

【団体】

貝曾根町自治会では、20年前から文化祭をやっております。平成20年に公民館ができて活用しています。子供から成人まで、たくさんの方に参加いただいています。作品展示、サークル活動や合唱、また今年はバザーの収益金を東日本大震災に寄付をしました。健康コーナーも好評でした。

【団体】



領家クラブです。昭和 56 年に設立して 32 年目になります。地域の活性化、親睦を図るため第 3 日曜日に活動しております。当初は、川の清掃をしておりました。その後、ボランティア活動として、柿の木荘やくすのき苑を訪問し、車椅子の清掃や食堂の清掃、また草むしりなどを行っています。ここ最近は、中学生も交えて一緒に行っており、先日は

クラブ員 19 人と中学生 30 人ぐらいの参加がありました。その他、盆踊り大会も子ども会と領家クラブで企画して行っております。子供会にはポスターを作ってもらい、領家クラブはバザーを行っています。また、東日本大震災のほうにクラブ員で寄附金を募り新聞社を通じて送っています。

【団体】

中川町西自治会です。いきいきサロンを行っています。年末には、しめ縄づくりを行い独居老人に届けました。また、もちつき大会を行っており、各班長、民生委員、福祉推進委員など年々協力者も増えてきています。最近では、子ども会と連携して、クリスマス会を兼ねたもちつき大会を行っています。また、15 年前から夏祭りを行っており、金魚すくいなど子供たちにも好評です。現在では、他の中川町自治会から一緒にやりたいと声がかかり中川町自治会全体で夏祭りを行っています。

【市長】

皆さん、どの地区も本当にすばらしい活動をしてみえますね。貝曾根町自治会では公民館を活用して、文化祭を行っているのはありがたいですし、領家クラブでは福祉施設での奉仕活動を行ったり、地元で盆踊りを行っていただいて、また中川西自治会のいきいきサロンもすばらしいです。盆踊りは他の地区でもやっていますが、なかなか継続して続けるということは難しいみたいです。運営していくのが大変だとか場所がなくなってできなくなったという話を聞きます。また、いきいきサロンの活動も皆さん盛んで、すばらしい事業だと思います。さらに子供と連携して行っているのはいいですね。今は核家族化しているので、三世代交流するのは大切だと思います。各町内が特色ある活動をしていて、大変ありがたいです。普段からふれあい、絆を深めて連携をとっている地域は、いざ災害が起きた時にも復旧は早いです。

【団体】

三津屋町自治会です。私は防災人づくり塾の二期生であり、NPOに入って活動しています。平成23年度も防災人づくり塾に中川地区の自治会長3名に参加してもらいました。最近、東日本大地震が起こったため防災の関心も高まっています。大垣市役所付近は海拔5.98mですが、中川地区は海拔11mと高いほうですが、やはり水害は多い所で地盤は柔らかいため心配です。液状化現象が起きる可能性が高いようですが、どのように考えてみえますか？また、岐阜経済大学が最終避難所になっているため、先日防災懇談会を地元住民と経済大学とで行い、学内の避難場所の確認をしました。いろいろ問題点もでてきております。液状化現象が起こる可能性の高い場所を避難所に行っていることについても意見をお聞かせ願いたいです。また、北部体育館に中川地区の防災敷材が置かれていますが、とても数が足りません。そのところもお聞きしたいです。

【市長】

防災人づくり塾に参加いただき、ありがとうございます。今回の地震は、原発と津波が大きな問題となりました。大垣市は津波の被害は少ないと思います。液状化現象は大垣だけでなく、大垣市から海津市にかけて大きな問題になっています。国のほうで三連動型地震が起こった場合、どのような被害が起こるかを想定した調査を行います。それを受けて、県と市で液状化現象の影響調査をする予定です。水の都ということは、地下水が豊富であるため地盤は軟弱です。津波のように人が流されたり、家屋が倒壊することはありませんが、千葉県浦安市のように建物が傾く可能性はあります。調査結果によっては、地盤の弱いところには家を建てるのを避けたり、立て直すときには基礎をしっかりするなど対策をしないといけません。また、災害の状況によっては、避難場所も変わってくるでしょう。揖斐川の堤防が決壊すれば、2階建または3階建の建物に避難しないといけません。地震のみであれば、小中学校の体育館でもいいですが。これからの災害は、想定外を想定しないといけません。

【団体】

中川地区の避難所は、昔沼地だったところに建っているため不安です。その液状化現象の調査は、いつ行われますか？



【市長】

国の三連動型地震の影響調査が終わった後に液状化調査を行うため、一年後ぐらいでしょうか。

【団体】

最終避難所の建物も倒壊するかもしれないので、仮設テントを用意しておいていただきたいです。

【市長】

大垣は津波の心配はあまりないので、建物が倒壊することはあまりないかと思えます。液状化現象では、建物が傾くことはあっても倒壊はしないのではないのでしょうか。ただ、東日本大震災を受けて、皆さんの防災に対する不安が増えたため、各自治会への防災敷材補助金を10万円から15万円に増やします。

【団体】

東海環状自動車道の大垣西インターができることによって、中川地区にも他県から観光に来ていただけるといいです。曾根町には、曾根城公園の桜や花菖蒲、また歴史上の有名な人物、梁川星巖もいます。中川地区を巡ってもらい、また赤坂の国分寺跡なども観光してもらおうといいです。そのような観光案内板を作っていただけるとうれしいです。

【市長】

奥の細道むすびの地記念館が4月8日にオープンするにあたって、大垣のいいところを巡ってもらおうとウォーキングを企画しています。四季の里ウォーキングと題して、大垣の様々な場所で見られる花を巡ります。たとえば、三城のソフトピアジャパンのつばきや曾根城公園の花菖蒲など、月ごとに見ることができる花にちなんでウォーキングを企画して、同時に景観遺産も訪れていただけるようにしています。案内掲示板は大垣西インターを降りたところに作る予定です。今、人気が高いのは、やはり曾根城公園の花菖蒲と赤坂公園の藤の花でしょうか。

【団体】

中川地区では、ハリヨも有名です。40年以上前に大垣市第1号の天然記念物として指定されました。市の魚と指定されたのをきっかけに、ハリヨと蛍を守る会を発足し、美しい中川地区を守ろうと頑張っています。大野町の水サミッ

トにも出席しましたが、保存記念館があったりしてすばらしいものでした。中川の業者がワサビを作っていますが、そのワサビに必要な地下水を使ってハリヨを育てるといいと思います。また、「曾根城公園花しょうぶ祭」も他県から見に来てもらってるので、もう少し面積を増やしてもらえるといいです。桜もすばらしいので、PRしていただけるとありがたいです。



【市長】

市制 90 周年のときに、ハリヨを市の魚に制定しました。その割には、ハリヨの数が少ないとは思いますが、市の魚であるからには、もう少しハリヨが泳いでいるところがあるといいなと思います。曾根城辺りと西之川辺りが一番いいのではないのでしょうか。ハリヨも大切に育てて有名にし、花菖蒲も有名ですので、名所になりますね。市全域においては、千本夢桜構想を行っています。ただ、桜は豪快に咲きますが 1 週間で散ってしまいます。梅は 3 週間ぐらい楽しめますが、いろいろな桜の種類を植えて、1 ヶ月ぐらい楽しめる回廊づくりをしたいと思います。

【団体】

4 月からゴミのリサイクルが変わりますが、プラスチックの容器で油の入った容器を洗剤で洗うのがなかなか大変なことと、洗うことによって出る洗剤の量を考えると本当にエコになるのか疑問です。また、綺麗に洗えなければ燃えるゴミに出してもいいというあいまいなところが、リサイクルが徹底されないのではないかと思います。

また、桜並木についてですが、昔は市のほうから消毒に来ていただいていたのですが、現在ではこちらからお願いしないと消毒していただけません。家の中まで毛虫が入ってくるため、困っています。毛虫の発生する頃に消毒を徹底してもらえるとありがたいです。

【市長】

リサイクルをするということは、だいたい手間暇がかかります。市のほうもクリーンセンターで燃やしたほうが早いです。分別し回収してリサイクルする



ことは経費もかかります。リサイクルしてパレットや車止めにして二酸化炭素の減少や地球温暖化の防止と、環境のためにご協力いただきたいです。

また、桜の毛虫の話は桜構想をしたときから、言われています。他の都市でも桜の毛虫は問題になっています。桜だけでなく、樹木全体がそうですね。緑の街を推進するにあたって、公園には樹木を

植えたほうがいいと思いますが、皆さんあまり希望されません。毛虫や落ち葉管理が必要であるとか、防犯上よくないとか言われます。世界的にみても、先進国になればなるほど花や緑が増えてきます。また公園整備にかかる費用も大きいです。韓国の昌原市やオーストラリアのグレンアイラ市、ドイツのシュツットガルト市もそうです。

【団体】

中川校区は本当に住みやすい、いい土地だと思います。今後ともよろしくお願ひします。

【市長】

会長のお話からもあったように、市内でも中川校区は高齢化の進んでいない最大の地区です。少子高齢化の現代を少しでも改善するように、子育て日本一を目指して子育ての福祉を充実させています。子供の数が増え、現役世代が増えれば高齢者福祉も充実できます。また、防災に関しても大垣は津波の心配は大丈夫ですし、原発も 70 km と離れているためまだ安心ですが、いつ想定外のことが起こるか分かりませんので万全な準備をしたい。そのため、防災協定も東京の荒川区と新たに結びました。また、機会があれば皆さんとお話したいと思います。本日はありがとうございました。